

全 國

商工新聞

長岡版

発行編集 長岡民主商工会
長岡市中沢町一六七-1
〇二五八・三三・五九四八

2018年
9月10日
第1922号

急に涼しくなったり暑くなった
りですが台風もまた来ます
災害の備えと体調管理を

今こそ「原発 NO！」の声をあげよう 子や孫に負の遺産を残さず、命とくらしを守ろう！

長岡市は市域のほとんどが柏崎刈羽原発から30キロ圏内にあります。事故の際、住民全員が圏外に避難するのに12時間かかるというシミュレーション結果もあり、また風の方向・強さなどで放射性物質が数十分で長岡に到達するといふ予測もあります。事故になれば、避難したあとそのまま戻れず、私達地元の業者は、家も仕事も、店もお客も失う可能性が大きいのです。

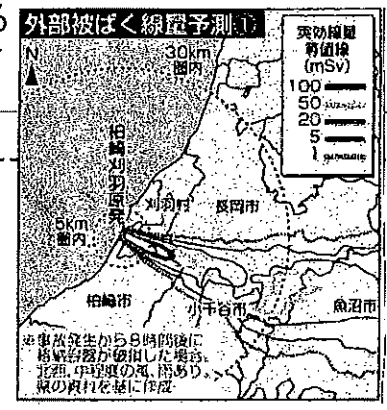
7月の選挙で原発推進与党の支援を受けて当選した花角知事は柏崎刈羽原発について、選挙前は「三つの検証委員会の結果が出るまでは再稼働の議論は始められない」と言っていました。選挙中には「検証委員会の結果は結果、知事としての判断はする」と、当選してからは「再稼働も当然あり得ると、発言が明らかに変わりました。

東京電力は、テレビCMで「福島第一原発の事故を教訓に」柏崎刈羽では万全の対策をしている」と強調しますが、事故の検証も終わらない、汚染水も止まらない、汚染ゴミの処分先も決まらない現状では何の説得力もありません。

今年も、柏崎で集会が開かれます。私たちの生活・子どもの未来を守るためにぜひ参加し地元から声をあげましょう。

「なくとて原発 2018 柏崎大集会」
9月16日(日)12時45分から
柏崎市文化会館アルフォーレ

(内容は先週の商工新聞折込チラシに)



「平和のための戦争展」に行きましよう
第9回「ながおか平和のための戦争展」が
アオーレ長岡で9月9日〜12日まで開催さ
れます。これは、「平和を守るために戦争の事
を知ろう・学ぼう」というものです。

今の日本は、2003年の有事法制や20
15年の戦争法ができた事で、一度戦争にな
れば民間の業者でも資材の調達や運送・工事
などで戦争に動員される体制になっています。
総理大臣が憲法9条改悪を叫んでいる今、
日本の過去の戦争の過ち、被害などに学んで

これから私たちが何をすべき
か考えてゆくことはとても
大事です。
講演や上映会もあります。
詳細は先週の商工新聞チラシ
をご覧ください。

ご注意を！

オレオレ詐欺や劇場型詐欺などが相変わらず多い
ようですが、民商の会員さんの中にも度々警察や業者を
名乗る人から身に覚えの無い物品購入や料金請求などの
電話が来る方がいます。また事務局員の携帯電話にもネ
ットショッピングの代理業者なる所から「未払い料金があ
るから今日中にこの電話に連絡を、無ければ法的手段
に訴える」というメールが届いています。

- ・身に覚えが無ければきっぱり断る、すぐ電話を切る。
 - ・番号指定されてもこちらからかけ直さない。
 - ・携帯メールやはがきで「法的手段に出る」などとあるのは脅しです。身に覚えがない知らせには「無視して何もしない」のが一番の対応法です。
- 不安な時は周囲の人や民商などに相談しましょう。